

カフェアズマーレ
Cafe Azuma-re

7月9日(水)市民活動支援センターにて地元の高校生6人組「木川田劇団」をゲストスピーカーに迎え、地元愛を大切に！みんなで楽しく恋するフオリチュンクツキ♡
Let's dance★をテーマに、恋チュン乗原バードジョンプV完成試写会と、撮影秘話や感想などを、お話ししてもらいました。
カフェアズマーレとは、毎月、第2水曜日に開催している「まちづくりカフェ」です。イタオン者、イタオン者、これから何かを始めた人。地域を知りたい人。情報を得る。新しいつながりをつくる。そんな「場」となっています。



★ 栗原市内の

染堀あれこれ ★

『染と織』辞典参照

今回は、栗原の伝統文化である栗駒正藍染(くりこましょうあいぞめ)の紹介です。特徴としては、人工的な保温、加熱をいさ行わず気温の自然上昇を利用して藍を自然発酵させる、原始的な自然染色法。冷染、正藍染を用いて染色します。また、仕妻のかかり方も、麻植え、藍の種まき、糸とり、機織、染まで、すべての工程が他人の手を煩わすことなく(貧して行われず)。

冷染、正藍染の技法の起源は奈良時代とされていますが明らかではありません。江戸時代、伊達藩の藍栽培の奨励... 農民の絹物着用禁止...

東北地方の爰候が綿栽培に適さない... などこのような事柄からこの地方では大麻、苧麻などが栽培されていました。

そのため麻布を織り藍で染める事は祖母から母へそして娘へと受け継がれる女性の仕事だったので、

もともと機織にすべっていた

あやのさん(故人)が栗駒文字地区の千葉家に嫁いだから、正藍染技法を

伝授され、昭和三年人間国宝に

指定されたのもそのような背景があったからです。

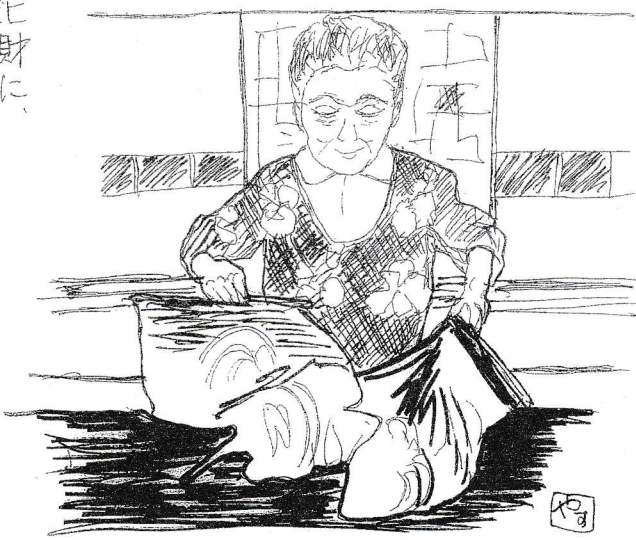
『正藍冷染』(しょうあいひやぞめ)は、現在栗駒文字地区の千葉家だけが伝承している

日本最古の藍染技法です。

千葉あやのさんは国指定重要無形文化財に、娘さんの千葉よしのさんは、県の無形文化財保持者に指定されています。

工房の近くに、愛藍人・文字(あいらんどもんじ)という施設があります。

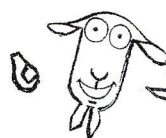
ここでは、正藍染作品も展示販売しているそうです。興味のある方は、一度でかけてみてください。



栗原市市民活動支援センター
(指定管理者) 特定非営利活動法人 Azuma-re

栗原市市民活動支援センター

検索



ホームページ
始めました!